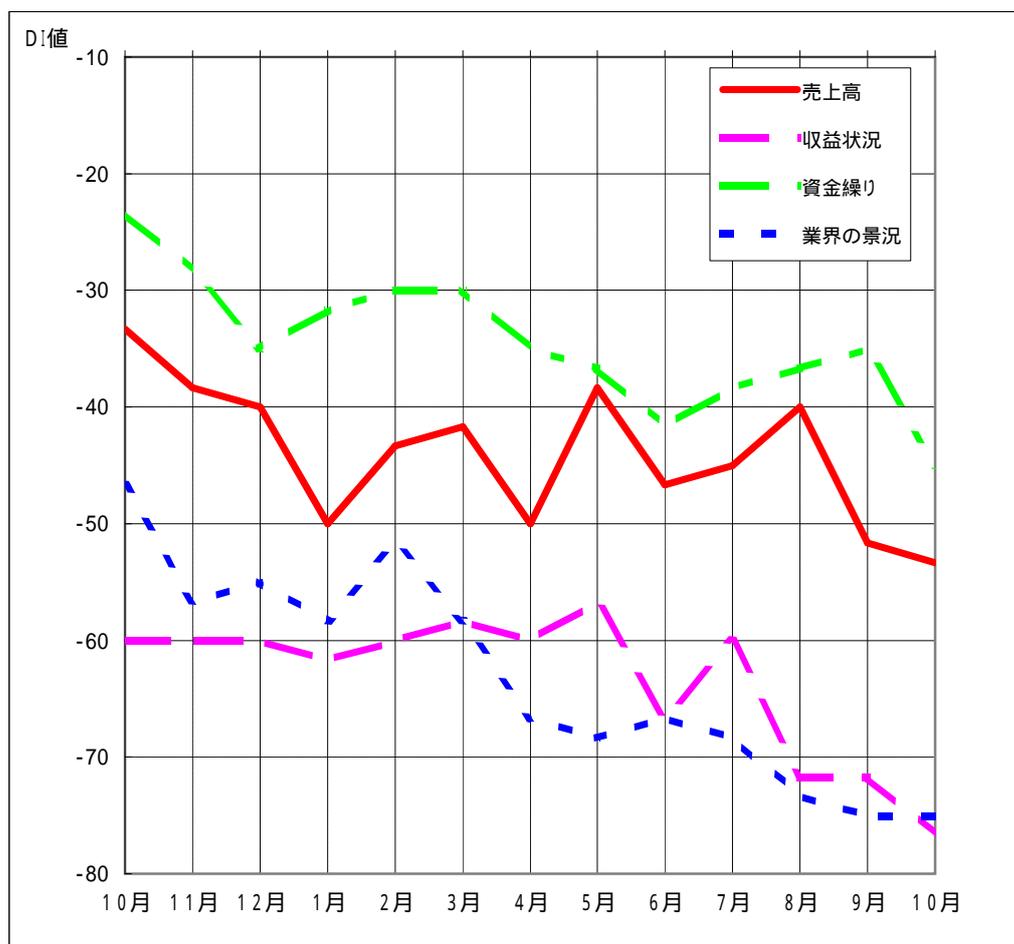


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成19年10月～平成20年10月

単位:ポイント



	H19			H20									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
売上高	-33.3	-38.3	-40.0	-50.0	-43.3	-41.7	-50.0	-38.3	-46.7	-45.0	-40.0	-51.7	-53.3
収益状況	-60.0	-60.0	-60.0	-61.7	-60.0	-58.3	-60.0	-56.7	-66.7	-60.0	-71.7	-71.7	-76.7
資金繰り	-23.3	-28.3	-35.0	-31.7	-30.0	-30.0	-35.0	-36.7	-41.7	-38.3	-36.7	-35.0	-45.0
業界の景況	-46.7	-56.7	-55.0	-58.3	-51.7	-58.3	-66.7	-68.3	-66.7	-68.3	-73.3	-75.0	-75.0

長期化する原材料価格の高値推移に加え、金融不安等の影響から、10月のDI値は前年同月より上記全項目で悪化した。「売上高」DIは20.0ポイントの悪化でマイナス50%台に推移、「収益状況」DIについては16.7ポイントの悪化でマイナス70%代後半の数値へと落ち込み、更に厳しさが増している。また「資金繰り」DIについては21.7ポイントの悪化でマイナス40%台に、「業界の景況」DIについては28.3ポイントの悪化でマイナス70%台と改善がみられず、ここ3カ月の景況は「収益状況」DI及び「業界の景況」DIでマイナス70%台と低位を這う状態が続いている。

組合の特記事項からは、製造業では受注減、売上高減の他、引き続き原材料価格の高値推移により、「収益状況」DI及び「業界の景況」DIともにマイナス70%台を4か月継続中であり、先行きを不安とする報告が目立った。

また非製造業についても、消費マインドの落ち込みによる需要減に経済不安が拍車をかけ、「売上高」DIで前月よりマイナス60%台を継続している。「収益状況」DIについてはマイナス70%台後半へと転落し、「業界の景況」DIではマイナス70%台を3か月継続中で、製造業同様、今後更なる景況悪化が懸念される。